

MENU

<活動のご報告>

中部部会見学会 p1

見学会アンケート結果 p5



2014年
3月11日

活動のご報告

平成 27 年度 中部部会見学会

平成 27 年度 当中部部会見学会を
3月 11 日（金）に開催いたしました。

今回の見学会は、新宝ふ頭（東海
市）にある完成自動車基地「トヨタ自動
車(株)名港センター」を訪問・見学させて
いただきました。

名港センターの管理をされている「トヨ
フジ海運株式会社」の皆様より、大変丁
寧なご説明等をして頂き、盛況の中、開
催することができました。



（次ページに続きます）

活動のご報告

平成 27 年度 中部部会 見学会

バス内にて名港センターの概要説明

今回の見学会では、完成自動車の船積時間帯の関係から、時間を有効に使うため、トヨタ海運㈱の方にバスに同乗して頂き、本組合から名港センターまでの移動時間を利用して、スケジュールと見学する自動車専用船の概要について、説明をしていただきました。

到着後は、名港センターのバスに乗り換え、自動車専用船の中に入りました。

トヨタ自動車(株)名港センター

トヨタ自動車(株)名港センターは、伊勢湾岸道の南に位置し、総敷地面積 501,920 m² (約 15 万 2 千坪)、保管能力 25,800 台の規模をもつトヨタ完成車船積基地です。

同センターには、4つのバース (I2, I3, I5, I6) があり、内航と外航に対応しています。内航の仕向け地は、主に仙台、横浜、広島、新門司で、2015 年の船積は約 27 万 7 千台、外航の仕向け地は主に欧州、オセアニア、アジアで、2015 年の船積は約 52 万 9 千台の見通しとのことです。



(南西から北東方向への名古屋港空撮写真)

船積の見学

見学した船は TRANS FUTURE 5 という完成自動車が約 4,500 台が搭載できる船です。

すでに積込作業が行われており、ハイエースの積込作業を見学させていただくことができました。バスから降りると、積込作業の音で声が聞こえないため、パナガイドを装着し、マイクを通して説明を聞きました。

見学したこの日は、名港センターで 2,103 台を積み込み、次の寄港地横浜へ向け出航、その後は、グアム、オーストラリア、ニュージーランドと運航します。(船の詳細は次頁参照)

TRANS FUTURE 5 の概要

運航会社	トヨフジ海運株式会社
船型	自動車専用船
船籍	パナマ
建造年	2005年10月
前長×船幅	199.99m × 32.26m
総トン数	60,414トン
速度	20.5ノット
乗組員	22名（フィリピン人）
車両搭載台数	4,500台
デッキ数	12層



TRANS FUTURE 5
（トヨフジ海運㈱パンフレットより）

操舵室、デッキの見学

積込の見学の後は、艙内の階段をのぼり、高層階にある操舵室へ移動しました。操舵室では、設備等の説明をしていただき、質問にも丁寧に対応してくださいました。

次に、デッキに出てみると、高いところからヤードを一望することができました。



操舵室の見学



操舵室から名港トリトン方面

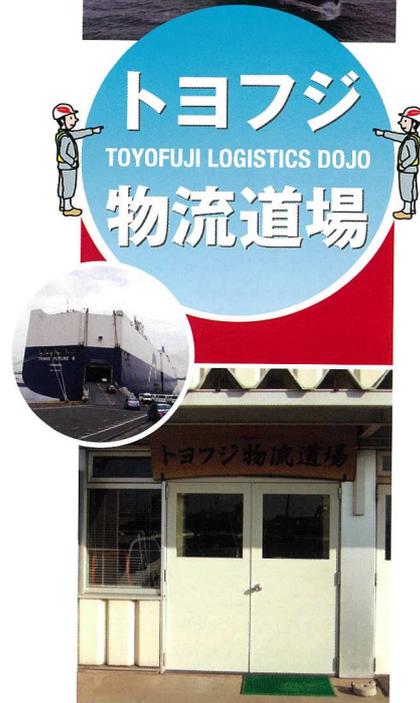
物流道場の見学

バスに戻り、名港センター作業員棟にある「トヨフジ物流道場」を見学させていただきました。

ここは、2006年に立ち上げた「職場力強化活動」の一貫として、団塊の世代の大量退職によるキーマン不足を補うため、ノウハウを伝承する教育施設として設立されたものです。

1階部分は教育施設、2階部分は安全訓練施設となっています。

各施設について詳しく説明をしていただき、たくさんの質問にも丁寧に対応してくださいました。



(トヨフジ物流道場パンフレット)

概要説明・質疑応答

次に、バスでPRホールへ移動し、名港センターの概要説明とトヨフジ海運株式会社の説明をしていただきました。

その後は、見学会終了時刻まで質疑応答の時間となりましたが、部会会員からの数々の質問に、丁寧に対応してくださいました。

こうして、盛況の見学会は帰路につきました。



(船の上からの眺め)



トヨフジ海運(株)の皆様には、ご多忙中にもかかわらず、当部会の見学会を開催させていただきましたことに感謝申し上げます。

また、丁寧なご説明、ご案内を頂きましたこと、重ねてお礼申し上げます。

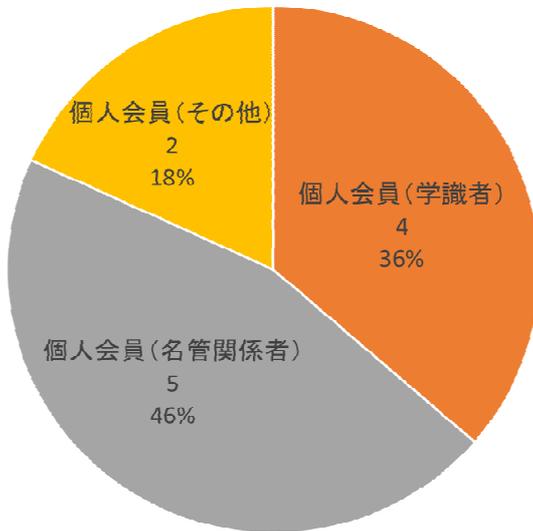
見学会のアンケート結果について

平成 28 年 3 月 11 日（金）に開催しました日本港湾経済学会中部部会 見学会にてアンケートを実施いたしましたので、結果をご報告いたします。

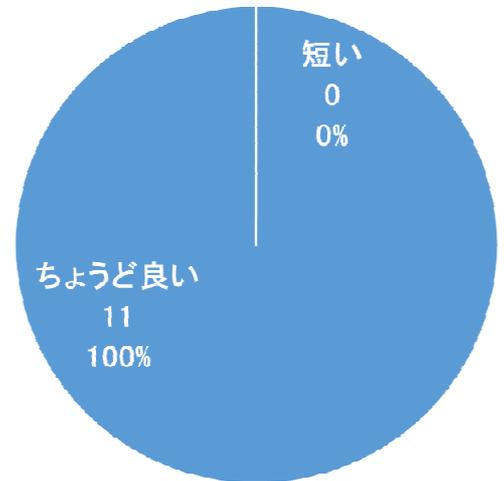
多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。今後見学会を開催する際の参考とさせていただきます。

回答数 11 名 / 参加者数 12 名（事務局除く）
回答率 92%

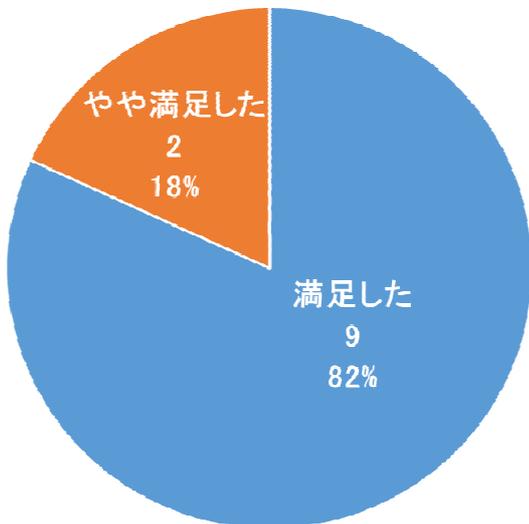
見学会参加者の会員種別
(単位：名)



見学会時間の長さ
(単位：名)



見学会の感想
(単位：名)

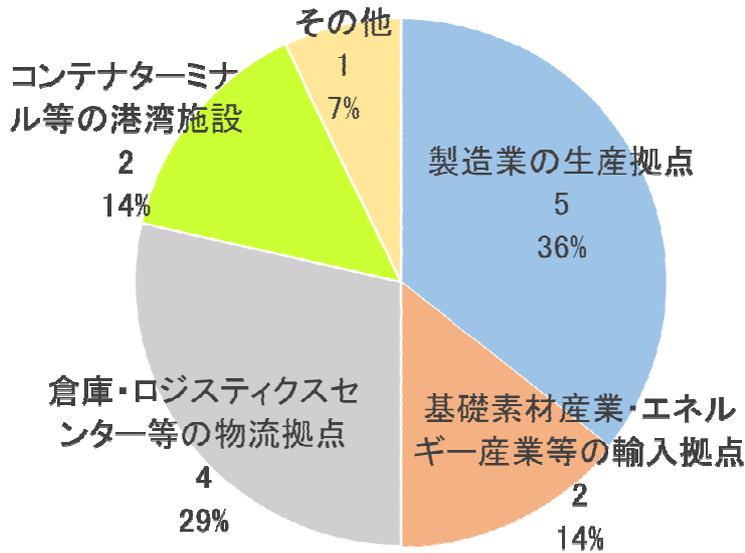


感想の理由

- 完成車積出しの貴重な荷役状況を目の当たりにできた為
- 施設の説明がとても良かった
- 珍しい所を見学させて頂き感謝します
- 初めて船を見学した
- 見学内容と説明は大変良かったです
- 初めて PCC 船に乗船見学できた

今後の見学会で見学したい施設

(単位：回答数)



具体的希望先

- ・北浜の穀物ターミナル群
- ・航空産業（川崎重工業、三菱重工業、MRJ）
- ・アマゾン・ダイバー・フロッグス・竹アなど高度物流施設
- ・IHI
- ・食品産業（UCC、サンブレイン等）
- ・大同特殊鋼

今後聴きたい講演内容

- ・TPP と港の関わり、今後の影響
- ・港湾と空港
- ・大地震対策
- ・これからの名古屋港の港湾づくり、アジア、世界のハブ港との関係

その他ご意見・ご感想

- ・とても良い機会でした
- ・このような企画を是非継続してほしい

日本港湾経済学会中部部会ニュースレターに関するご意見、ご要望、ご提案、お問合せがございましたら、事務局までご連絡ください。

配信停止を希望される場合は、お手数ですが配信停止の旨を右記までご連絡ください。

■ 日本港湾経済学会中部部会 事務局 ■
名古屋港管理組合 企画調整室 企画担当内

担当：棚木、都築

〒455-0033 名古屋市港区港町1番11号

TEL:052-654-7968 FAX:052-654-7997

E-mail: kikaku@union.nagoyako.lg.jp

日本港湾経済学会中部部会ホームページ URL: <http://www.portecon-chubu.com>

名古屋港管理組合ホームページ URL: <http://www.port-of-nagoya.jp>